

アトピー性皮膚炎と民間療法

中村晃一郎

福島県立医科大学皮膚科



アトピー性皮膚炎は、乾燥肌を基盤として慢性・再発性に皮膚炎を繰り返すアレルギー性皮膚疾患である。日本皮膚科学会においてアトピー性皮膚炎の治療ガイドラインが作成され、スキンケア、薬物療法、原因の検索・除去を中心とする標準的治療が確立されつつある。すなわち炎症を制御するための副腎ステロイド軟膏の使用が基本であり、保湿薬を用いたスキンケアが重要であることが述べられている。さらにアトピー性皮膚炎におけるよりよい治療を確立するためには、EBM に基づく医学的根拠も必要である。標準的治療（ステロイド外用、抗ヒスタミン、スキンケア）に加えて、これまで食物アレルギー除去療法、漢方療法、紫外線療法、民間療法など多くの治療法が提示されている。EBM からみた民間療法における有効性、安全性について考えてみたい。